

## 令和6年度 生徒による授業評価の結果について

### 1. 基準となる指標について

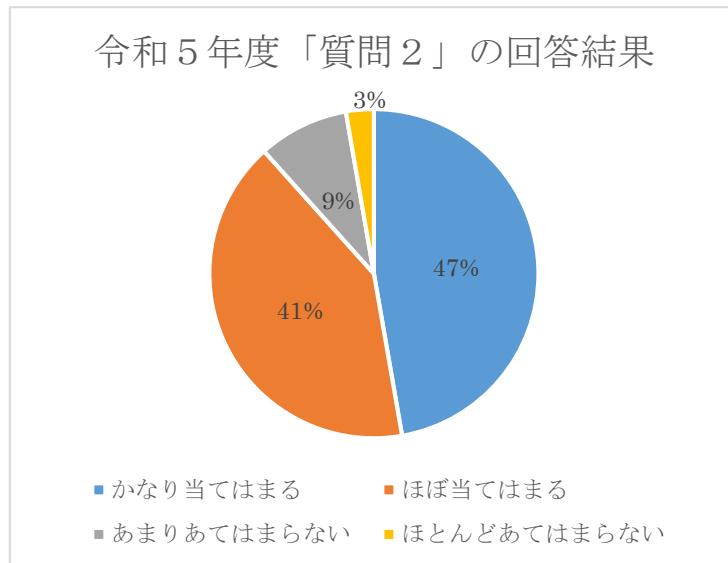
令和5年度と同じ指標を用い、「生徒による授業評価」のうち、質問2の「単元（内容のまとめ）の学習の中で、他者の考えを知り、自らの考えを広げ深める機会がある」と質問5「他者の考えを知ることにより、新たな考え方を知るなど、自らの考えを広げ深めることができた」の2つの質問を対象とした。指標については、回答のうち、「かなり当てはまる」と「ほぼ当てはまる」の肯定的な回答と「ほとんどあてはまらない」と「あまりあてはまらない」の否定的な回答をした生徒の変化をみた。

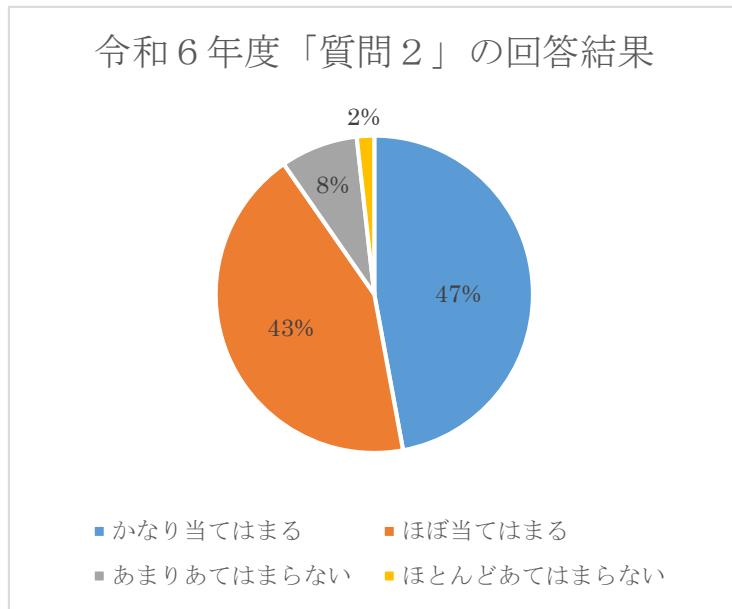
### 2. 質問2の指標結果の年度比較

令和5年度は「かなり当てはまる」が47.3%、「ほぼ当てはまる」が41.1%で、肯定的な回答の計は88.4%。「ほとんどあてはまらない」が8.9%、「あまりあてはまらない」が2.7%で、否定的な回答の計は11.6%であった。

令和6年度は「かなり当てはまる」が47.1%、「ほぼ当てはまる」が43.2%で、肯定的な回答の計は90.3%。「ほとんどあてはまらない」が7.9%、「あまりあてはまらない」が1.8%で、否定的な回答の計は9.7%であった。

令和5年度と令和6年度の指標結果を比較すると、肯定的な回答が2.1ポイント増加した。また、令和4年度と令和6年度の比較でも、肯定的な回答が3.2ポイント増加している。



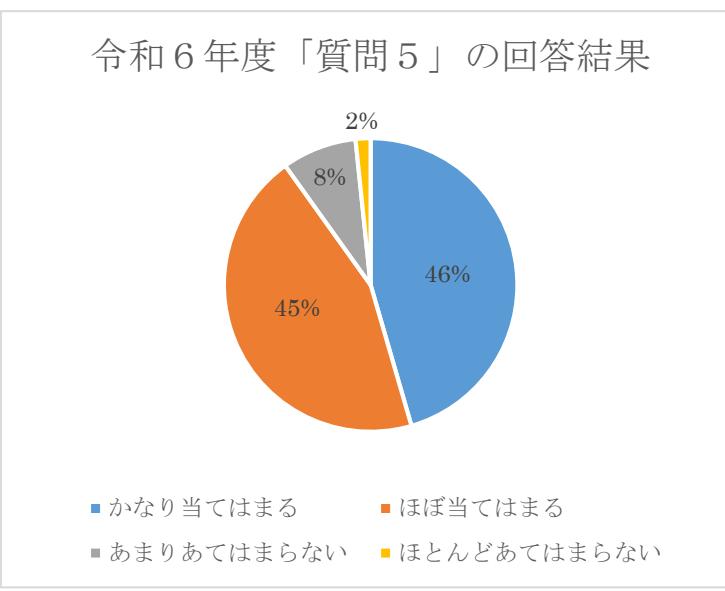
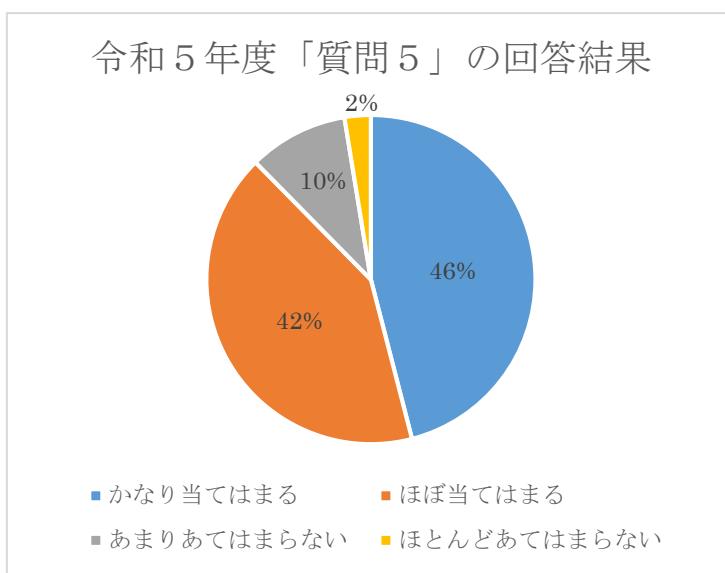


### 3. 質問5の指標結果の年度比較

令和5年度は「かなり当てはまる」が46.0%、「ほぼ当てはまる」が41.6%で、肯定的な回答の計は87.6%。「ほとんどあてはまらない」が9.8%、「あまりあてはまらない」が2.6%で、否定的な回答の計は12.4%であった。

令和6年度は「かなり当てはまる」が45.5%、「ほぼ当てはまる」が44.6%で、肯定的な回答の計は90.1%。「ほとんどあてはまらない」が8.2%、「あまりあてはまらない」が1.7%で、否定的な回答の計は9.9%であった。

令和5年度と令和6年度の指標結果を比較すると、肯定的な回答が2.5ポイント増加した。また、令和4年度と令和6年度の比較では、肯定的な回答が3.1ポイント増加している。



#### 4. 結果の分析について

質問2と質問5の令和5年度と令和6年度を比較すると、肯定的な回答が、どちらも約90%を越えており、改善幅も2.0ポイント程度増加している。

肯定的な回答がほぼ90%のため、多くの生徒が授業等の教育活動を通じて、「他者の考え方を知ることで、自らの考え方を広げ深めること」ができたことや、「他者の考え方を知ることで、新たな考え方を知り、自らの考え方を広げ深めること」ができたことを実感していると考察する。